

「食道癌に対する放射線治療後の胸椎圧迫骨折に関する後方視的検討」について

○ 研究の意義・目的

この研究の目的は、当院で食道癌に対する放射線治療を受けた方の副作用として胸椎圧迫骨折が発生する頻度や状況を検討することで、この治療を希望する食道癌患者さんが胸椎圧迫骨折を回避、軽減が達成できるよう検討することを目的としています。

この研究には食道癌で治療を必要とする患者さんの治療後の生活の質（QOL）の向上に貢献する意義があると考えます。

○ 研究対象者

2000年1月1日から2020年12月31日までに、広島大学病院放射線治療科で食道癌に対して放射線治療を受けられた患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は放射線治療計画データ、治療前後の画像検査データです。

利用開始日は研究実施許可日（2022年3月2日）です。

本学単独研究で外部への提供は行いません。また、個人が特定出来る情報は転記しません

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院放射線治療科 教授 村上 祐司

○ 研究期間 2022年3月2日（実施許可日）～2026年12月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-1545

広島大学病院放射線治療科 教授 村上 祐司（研究責任者）

廣川 淳一（担当者）